

巻き込まれ/未発達 の自己スキーマ



「子離れできていない」

「自分で何もできない」

母：

今日は一緒に
プールに行っ
て、食事遊
んで、素
1日だっ
たわ。家にも
一緒にいるの
楽しいね。

HAD A GREAT DAY
MING, EATING, AND
TOGETHER. NOW WE
ME TOGETHER.



IT WOULD BE NICE
YOU AND I COULD
OUT TO DINNER
OCCASIONALLY.



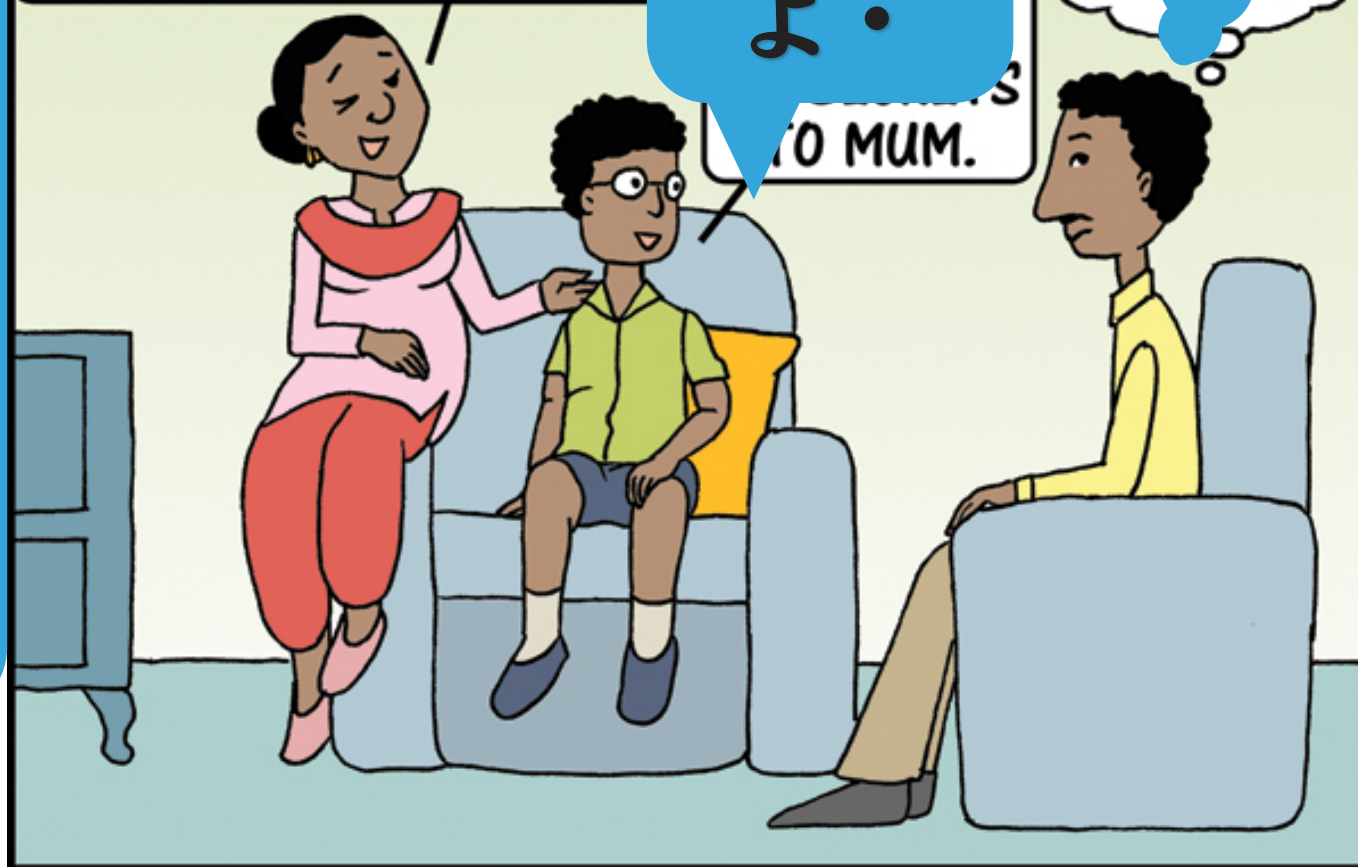
父：

ために二
僕とでご
飯で食べ
にけられ
たいの
に。

母：

みんなの
一緒が
嬉しい
が頃ん
はなも
でも一
緒が
楽しい
わ。私
もそこ
で来た
の。
子供は
な前か
の。

BUT IT'S MORE FUN TO
THINGS ALL TOGETHER. I
HAD THAT GROWING U



息子：

秘密の秘密
全部はママ
話している
よ。

父の心：
の秘密？

SECRETS!

TO MUM.

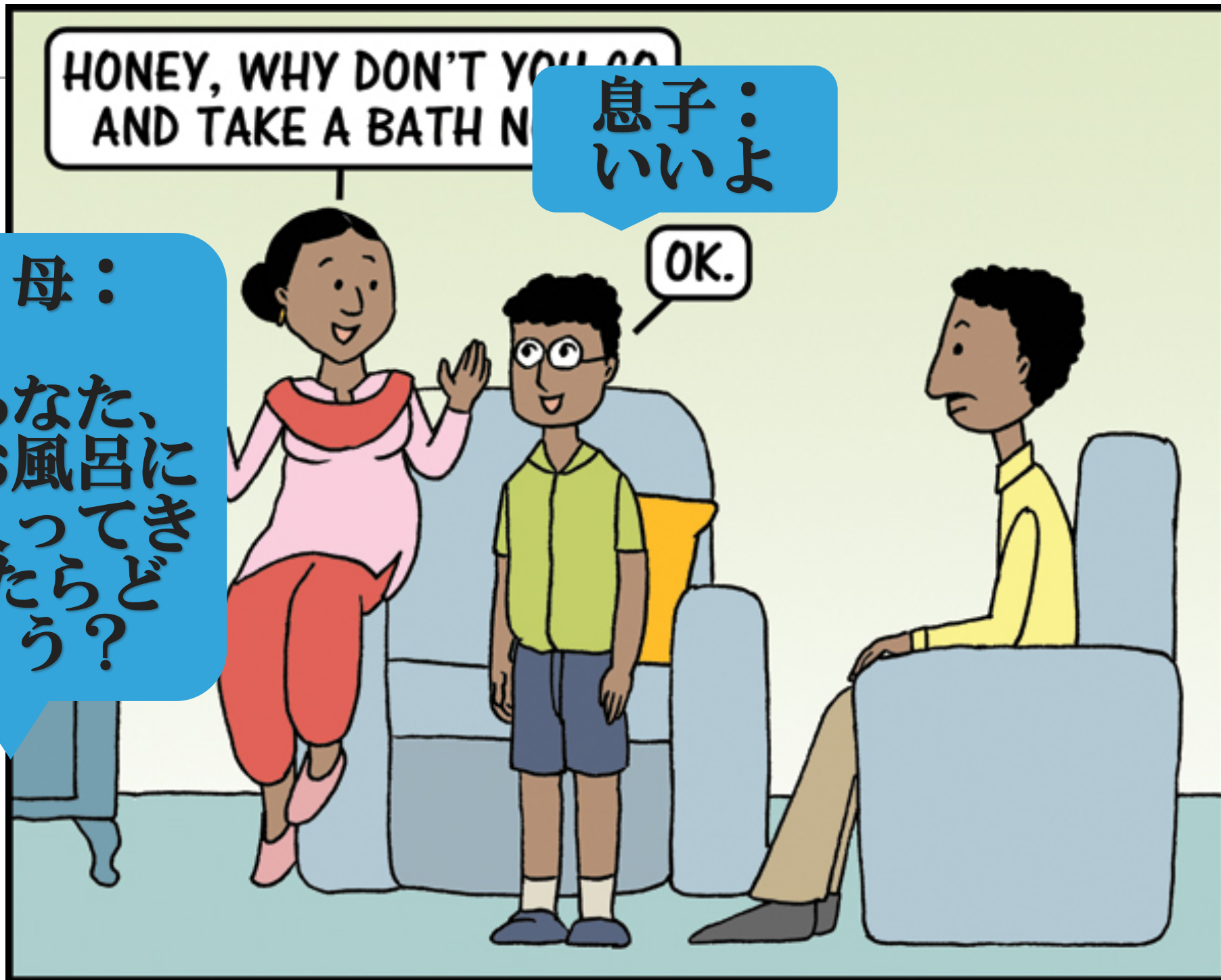
HONEY, WHY DON'T YOU GO
AND TAKE A BATH NOW

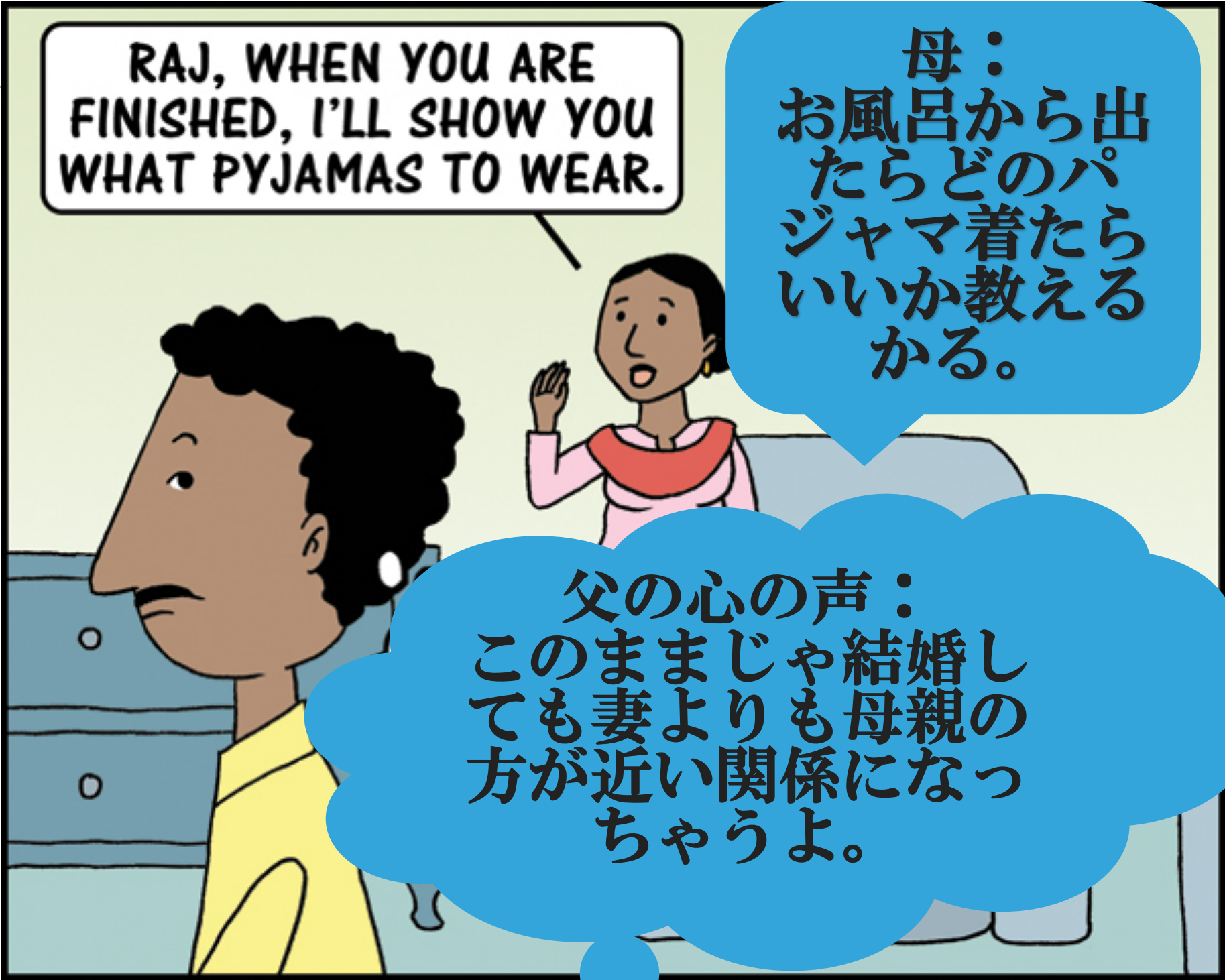
息子：
いいよ

OK.

母：

あなた、
お風呂に
入ってき
たらど
う？





RAJ, WHEN YOU ARE
FINISHED, I'LL SHOW YOU
WHAT PYJAMAS TO WEAR.

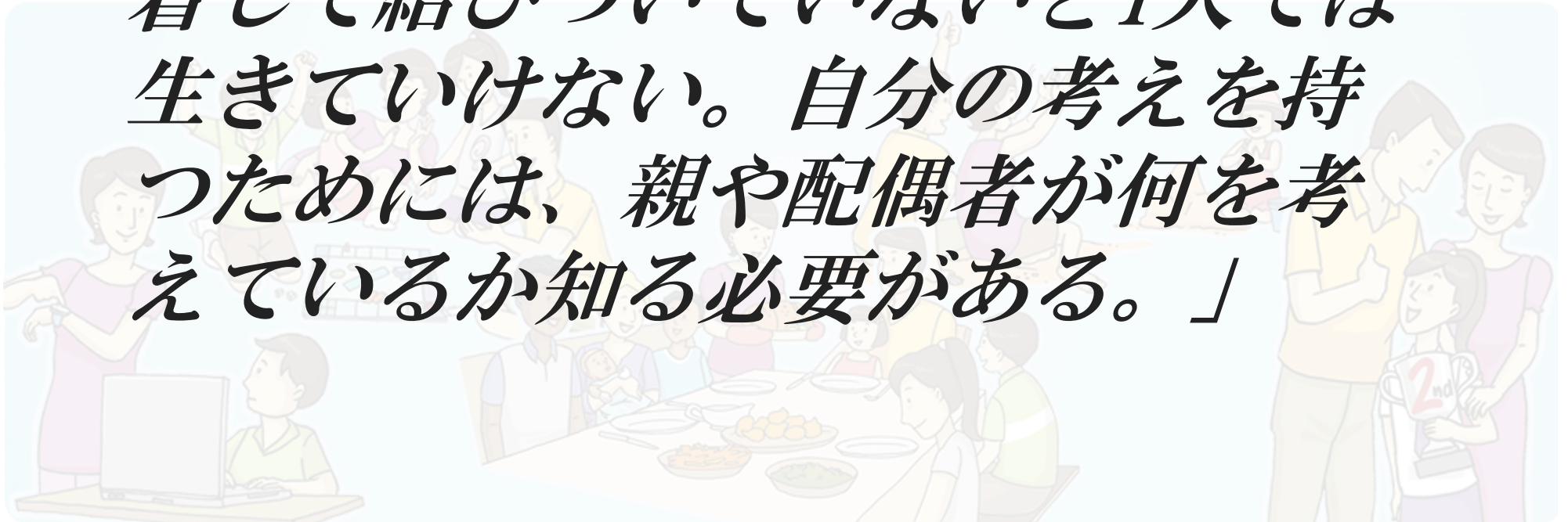
母：
お風呂から出
たらどのパ
ジャマ着たら
いいか教える
かる。

父の心の声：
このままじゃ結婚し
ても妻よりも母親の
方が近い関係になっ
ちゃうよ。

巻き込まれ/未発達の自己

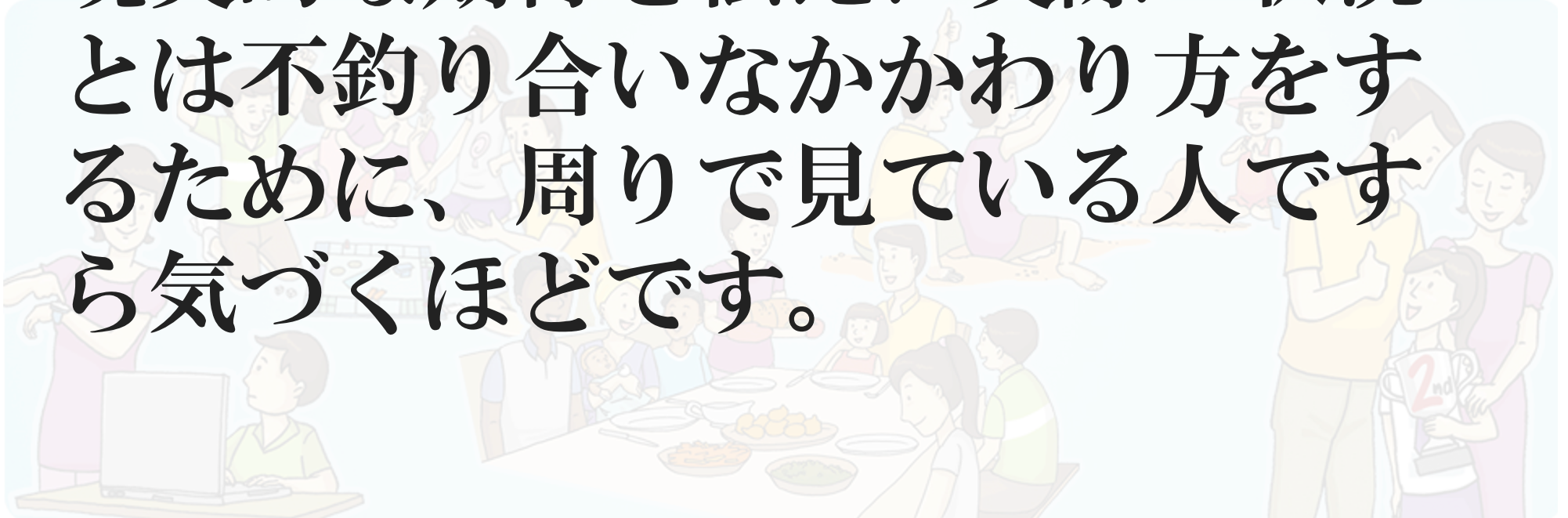
このスキーマの不健全な声の
メッセージは…

「私は親か配偶者と絶え間なく密着して結びついていないと1人では生きていけない。自分の考えを持つためには、親や配偶者が何を考えているか知る必要がある。」



WHAT? 過保護の親

過保護な親は子供のごく些細な問題を過剰に心配します。彼らは非現実的な期待を伝え、実際の状況とは不釣り合いなかわり方をするために、周りで見ている人ですら気づくほどです。

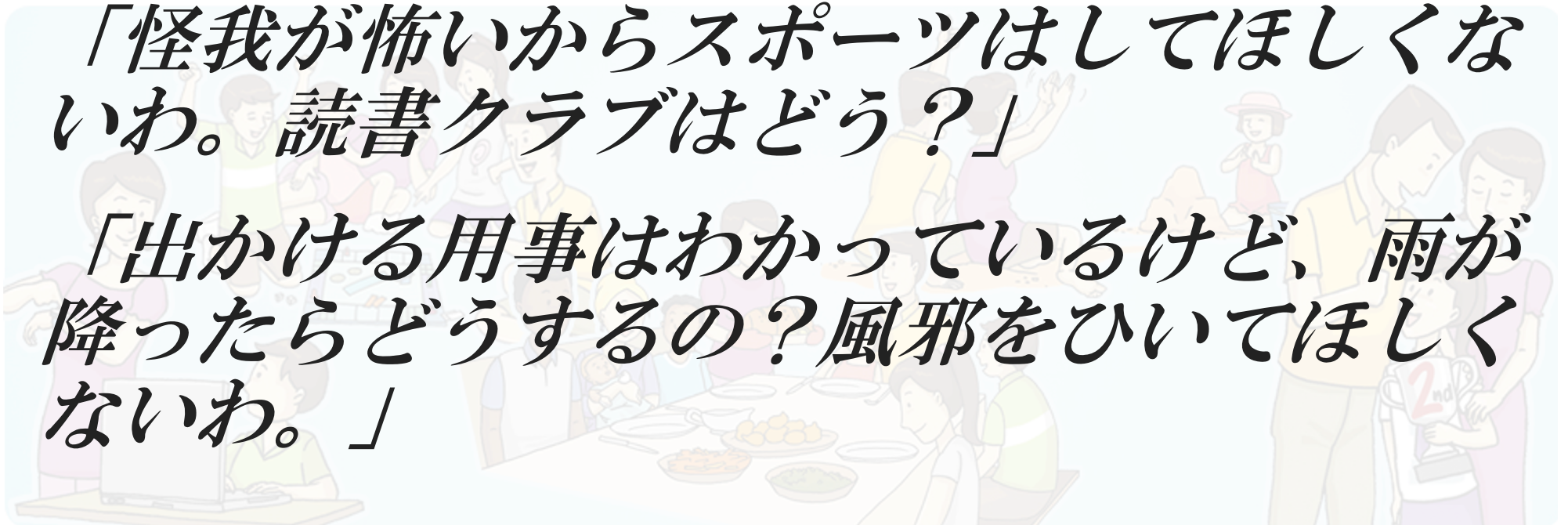


過保護な親の言葉の例

「友達に怪我をさせられたなんて信じられないわ。その子、何様だと思ってるの？私が言ってやるわ。電話番号を教えてちょうだい。」

「怪我が怖いからスポーツはしてほしくないわ。読書クラブはどう？」

「出かける用事はわかっているけど、雨が降ったらどうするの？風邪をひいてほしくないわ。」



妻：あなた、
不動産から電
話があった
わ。あの家を
買いたければ
今週中に頭金
を支払わなけ
ればならな
いみたいよ。

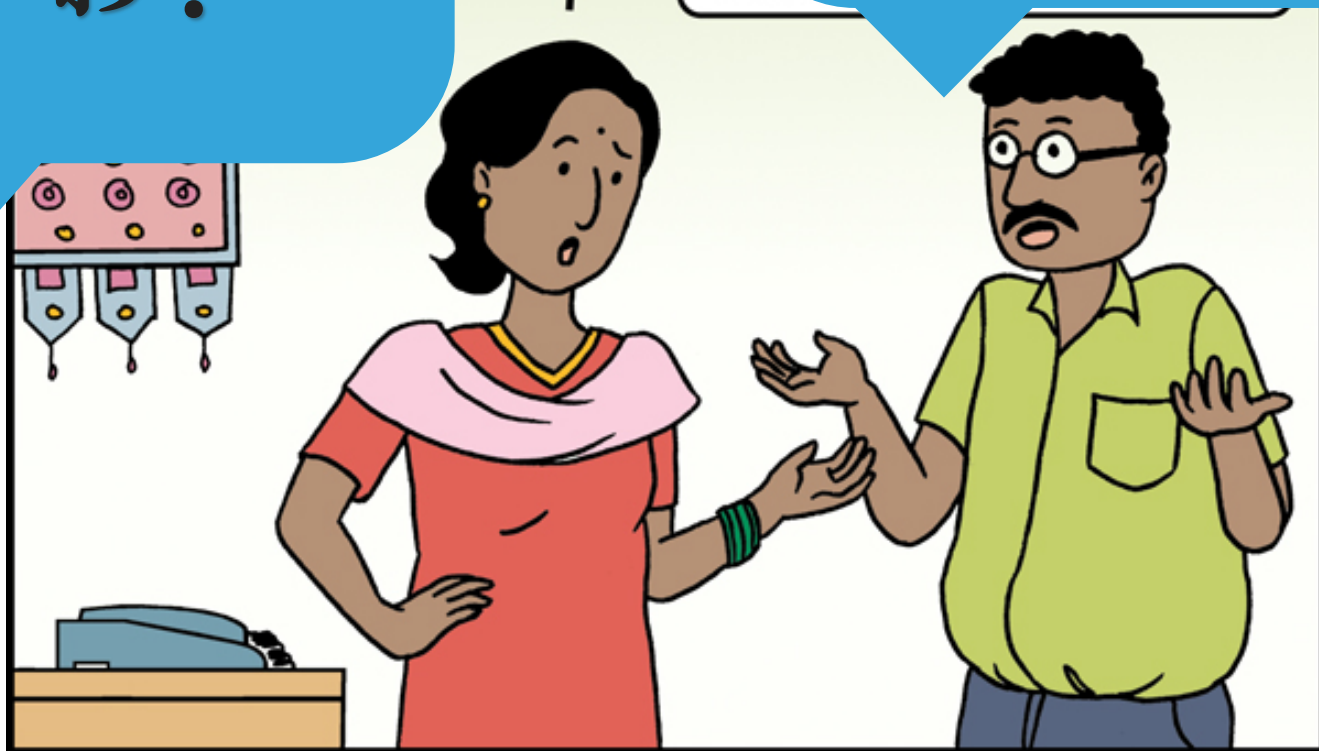
THE REAL ESTATE
CALLED, AND WE
TAKE THE DOWN
THIS WEEK IF WE
THE HOUSE...

夫：ええと
まずお母さんに
相談しないと。



妻：何でもおと
母さん。私もお
話すさんと電話多
いわ！

夫：僕のお
母さんだも。関
係だったん
だ。



カウンセラー：
聖書を読んで結
婚関係について
話し合いましょ
う。

夫：
アダムの問題わ
かるよ。



カウンセラー：
それは何？

夫：
相談する母親が
いなかったことが
問題だった。

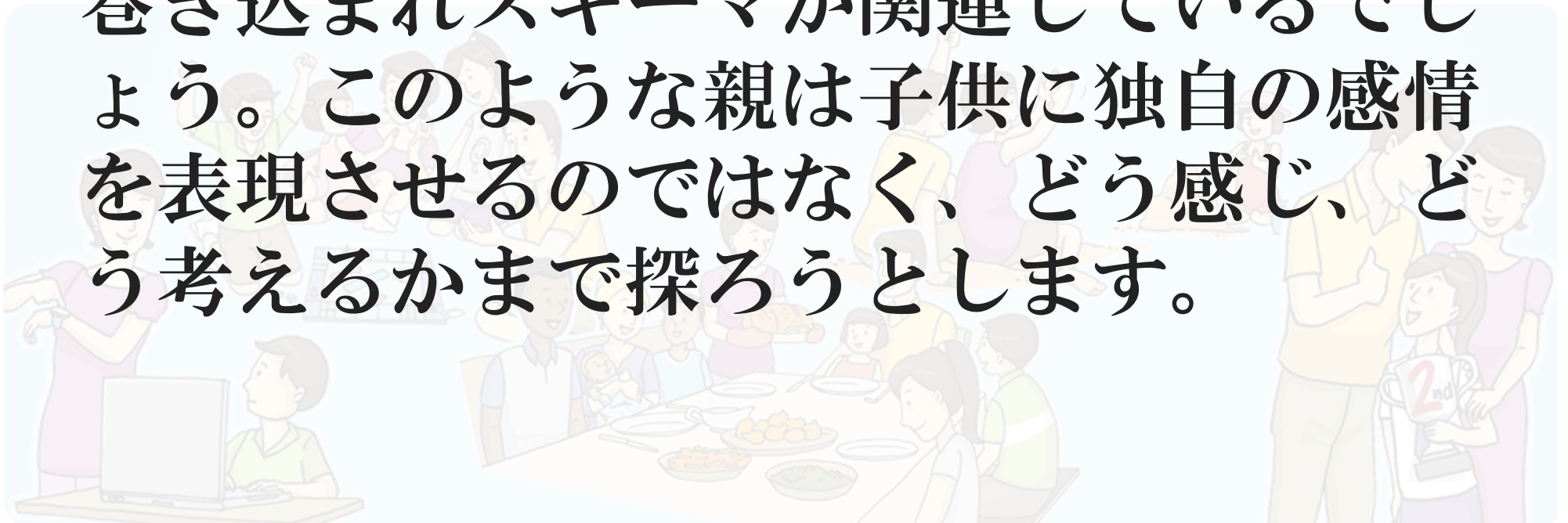
妻の声：
あらまあ。
恥ずかしい！



WHAT 支配

支配的で子供を苛立たせる親は大体悲観的で恐れを多く感じる。その思いから支配する必要性を感じてしまう。

巻き込まれスキーマが関連しているでしょう。このような親は子供に独自の感情を表現させるのではなく、どう感じ、どう考えるかまで探ろうとします。



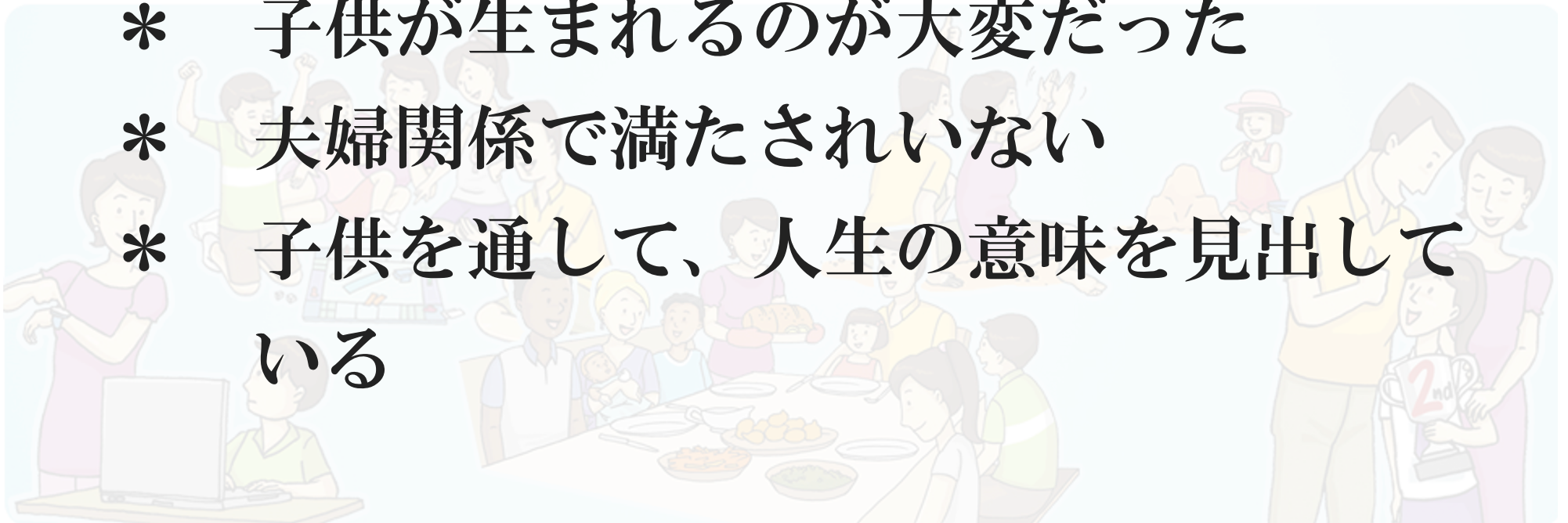
WHY? なぜ?

- * 不安・不信・不信仰
- * 親の自己中心・高慢
- * 人の目を気にしている



WHY? なぜ過保護？

- * 自分が過保護に育てられた
- * 放任されて、大事にしてもらわなかった
- * 子供が生まれるのが大変だった
- * 夫婦関係で満たされない
- * 子供を通して、人生の意味を見出している



HOW? どのように変わっていくか？

- * 「境界線」について学ぶ（読書）
- * 関係の優先順位を正す（神、夫婦）
- * 自分の人生、成長にフォーカス

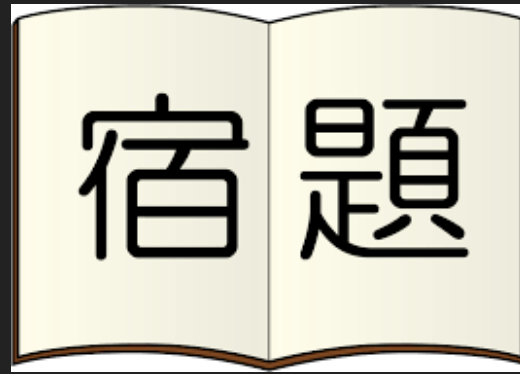
（趣味、関係）

- * 子供のことを信じてあげる、期待する



健全な自律と行動

将来のどのような大人に
なってほしいですか？



1) 夫婦で話し合い、子供自律、親の関わり方のアセスメントする。

2) 子供が自分でよくできること、あまり得意ではないこと話し合う。

3) 同じ年来の親か先輩にアドバイスを求める。

4) 自立を助ける分野一つ子供と
選ぶ： 教え、励まし、進歩促す

次回： 11月22日（日）
13時スタート

次回
健全な自律と行動パート2